

第一回SpaceClaim-CAEソフト研究会

SpaceClaimはCAEモデル作成に便利な3Dダイレクトモデリングツールです。そこで、ユーザー、並びに、これからSpaceClaimを活用されるお客様のために、2010年は最新のCAE動向/情報を提供するセミナーを開催致します。第一回は下記の通り、東京大学のDeFEM開発者、梅谷氏による講演を企画致しました。DeFEMはその斬新なアーキテクチャと圧倒的な計算スピードで、解析に携わる者の夢を膨らませるプロジェクトです。オープンソースソフトウェアとして公開されていますので、どなたでも試すことができます。生まれたてのFEMソフトウェアですので、まだ課題はありますが、日本発のFEMとして誇るに足るものです。

今回はその開発経緯、理論背景、実用化の可能性、実演と計算スピードを体感していただけるハンズオンのコーナーも設けたいと思います。是非、ご参加いただき、SpaceClaim最新情報とDeFEMの可能性をご見聞ください。

■日時: 2010年2月17日(水) 13:30 - 17:00 (開場: 13:15)

■アジェンダ

• 1. SpaceClaim セッション

- 講師: 株式会社CAEソリューションズ(山田 健一)
- テーマ: SpaceClaim Engineer 2009+のCAEモデル作成における便利な機能紹介とハンズオン: 1H
 - CADデータ変換エラーの自動修復・複合フィレットの除去・不要データの除去
 - 流路(空気)部分の自動作成・電気CADデータの読込など

• 2. CAEソフト紹介セッション

- 講師: 東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 梅谷 信行 氏
- テーマ: オープンソースCAEライブラリDeFEMを用いたインタラクティブな設計解析融合ソフトウェアの紹介: 2H
- 内容紹介
 - 私は大学院生として日々の研究の傍ら、オープンソースで誰でも簡単にCAD/CAEを作れるライブラリDeFEMの開発を行っています。このライブラリを使って、形状モデリングとリアルタイム有限要素法解析をインタラクティブに結合させ、リアルタイムの解析結果からのフィードバックを元に設計ができるソフトウェアを実現させました。これにより、設計者の意図を反映させた最適設計や、機能の制約が大きな難しい設計、解析を活かした構想設計、工学教育の支援などに役に立つ可能性が大きく開けました。本セミナーでは私が提案するインタラクティブな設計解析融合の魅力を存分にお伝えしようと思います。また、フリーソフトとして近日中の公開を予定している本ソフトウェアですが、一足先に皆様に触れていただき、その機能を実際に体験していただこうと思います。
 - ハンズオン: 実際にDeFEMのスピードを体感してください。

■会場: CAEソリューションズ 飯田橋トレーニングルーム

千代田区飯田橋2-1-10 TUGビル5F tel. 03-3514-1506

■定員: 20名 (ハンズオンは参加者数により、PC 1台/2名-3名様) (先着順ですのでお早目にお申込みください。)

■受講料: 無料

■お申込み先/方法

- 102-0072 東京都千代田区飯田橋2-1-10 TUGビル 8F tel. 03-3514-1506 e-mail: [cgs@cae-sc.com](mailto:cds@cae-sc.com)
- 株式会社CAEソリューションズ/CDS事業部/SpaceClaim-CAEソフト研究会事務局 宛に、所属、氏名、連絡先、e-mailアドレスをご連絡ください。
- または、URL: <https://sv111.xserver.jp/~caesc/cae-sc.com/mailform/basic/index.html> にて、
- ☆お問い合わせ内容: その他 ☆製品/サービス: SpaceClaim ☆備考: 2/17「SpaceClaim-CAEソフト研究会」参加希望とご記入の上、お申込みください。

以上

SpaceClaimブログ公開中: <http://www.design-sc.jp/spaceclaim/>